

地域運営学校
令和8年度
学校だより

鑑水

令和8年4月8日
4月号
八王子市立鑑水中学校

令和8年度を迎えるにあたって

校長 山川 毅

令和8年度が始まりました。保護者の皆様には、お子様の入学並びに進級、誠におめでとうございます。本校は、開校29年目を迎えました。この長い歴史は、地域並びに保護者の方々が、「地域の次代を担う人材を育てる」という学校の役割を常にご理解くださり、あたたかく見守ってくださったからこそ、築かれてきたものだと思います。今年度も、生徒が集団の中でよりよい人間関係を築きながら、互いに高め合う教育活動を行っていきたいと考えております。

本校の教育目標

- すすんで学び 向上をめざす人（自学）
- 共に助けあう 思いやりのある人（共生）
- 心身を鍛え 最後までやり遂げる人（自立）

よき社会人を育てる

私は、中学校教育の役割は、「よき社会人」を育てることの基礎段階だと考えております。

- 誠実さ 自分に与えられたことを、全力で誠実にやり遂げる人。
- 協調性 他人と上手にコミュニケーションをとりながら、協力して物事を進めることができる人。
- 粘り強さ 困難な課題に直面しても、諦めずに自分の力で切り開こうとする人。

「よき社会人」とは、“誠実さ・協調性・粘り強さ”、この3つを兼ね備えた人間だと考えております。鑑水中学校は、社会人としての基盤を身に着けさせるために、教職員が地域・保護者及び関係機関と連携して教育活動に取り組み、将来社会を担う、「よき社会人」を育成する学校を目指したいと思っております。今年度もこの考えを常に念頭に置きながら、教育活動を展開していきたいと考えておきます。

スタートラインとゴールライン

生徒一人ひとは、現時点のスタートラインもゴールラインも異なります。そのような一人ひとりに一斉指導するのが学校であり、そこに難しさが生じます。むしろ、社会性を育てるためには、集団生活の中で、時には我慢をさせたり、折り合いをつけさせたりして、全体に合わせて動ける力を育てる必要があります。しかし、そこだけに比重を置き過ぎると、生徒は疲れてしまいます。一般的に人間というものは、どうしても自分と他人を比べてしまいがちです。生徒は友達を、保護者は他人の子どもをうらやましがって、つい自分の良さや我が子の良さを伸ばすことより、他人や他人の子どもに追いつき追い越すことを目標にしてしまいがちです。

繰り返しますが、生徒一人ひとは、現時点のスタートラインもゴールラインも異なります。この4月スタートに当たり、現時点の到達点を把握し、1年後の着地点をどの辺りにするかを見通すことが大切なのではないのでしょうか。

(裏面に続く)

鏈水中学校グループ育てたい児童・生徒像
「好きになれる～自分・仲間・学校・地域・挑戦～」



そして、生徒の成長に必要なポイントは、肯定的な言葉の声掛けです。ずばり、「褒める」ことだと考えます。私たち大人は、まず、子どもの光るところを見出し、可能性を引き出してあげなければならないと考えます。人は誰でも、人から褒められ認められることを望みます。人から認められる経験をした子どもは、「自分は大切にされている」「自分は期待されている」という気持ちになり、自分に自信をもつことができます。そして、大切にしてくれている人のことを考えた思いやりのある行動がとれるようになり、やがて、「もっと人の役に立ちたい」という社会貢献の精神が育ちます。本校の教育も、生徒の良さを認め、可能性を引き出す教育活動を基本に進めてまいります。そうすることにより、生徒達が健やかに成長して、やがて本校を巣立ち、いつの日か社会の一員として活躍するために、教職員一同、頑張っていきたいと考えております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

部活動改革

最後に今年度の部活動について触れさせていただきます。昨年度の保護者会等で、サッカー一部を「広域部活動（拠点）」にする方向とお伝えしましたが、最終的に市教委と調整した結果、今年度は「広域部活動（合同）」という形で、近隣の学校と合同チームを組み、練習及び大会参加を行います。今後継続して市教委と相談の上、生徒数減に伴い単独校では大会参加が難しい集団競技の部活動を持続させる為、「広域部活動（拠点）」への移行を検討していきます。ご了承ください。

【教職員の異動等】

【転出】

主幹教諭	古川 健一郎	八王子市立宮上中学校（外国語）
------	--------	-----------------

【任期満了】

臨時的任用教員	田口 貴洋	台東区立柏葉中学校（美術） ※新規採用
臨時的任用教員	大久保 圭子	本校在勤2年（養護教諭）

【転入・復職】

主幹教諭	田畑 義則	立川市立立川第九中学校（美術）
主任教諭	北島 昇	府中市立府中第六中学校（外国語）
主任養護教諭	水上 あゆみ	育児休業から復職

鑓水中学校グループ育てたい児童・生徒像
「好きになれる～自分・仲間・学校・地域・挑戦～」



【令和8年度 教職員一覧】◎：主幹教諭 ○：主任教諭 ★：学年主任 ◇担任

校長	山川 毅 (やまかわ つよし)		副校長	末次 哲待 (すえつぎ てつじ)	
教科	1年	2年	3年		
国語	香川 徹○★◇ (1-1) 【進路指導主任】	星野 裕貴			
社会		太田 皓稀◇ (2-2)			
数学	大石 義一	小嶋 拓也○★◇ (2-1) 松本 信雄◎【生活指導主任】			
理科		村野 千鶴子○◇ (2-3)			
音楽			藤原 千恵子		
美術	田畑 義則◎【教務主任】				
保体			高橋 潔○★◇ (3-2) 中込 佳凜		
技術			大野 竜太郎◇ (3-1)		
英語	末吉 海風◇ (1-2)		北島 昇○		
養護	水上 あゆみ○				
不登校対応巡回教員	佐藤 陽平 (上柚木中学校) ※火曜日に鑓水中で勤務します。				
都事務	平井 みどり	市事務	丸山 典子	用務	内山 晋作
				スクールカウンセラー	澤谷 厚子
特別支援教室専門員	藤井 朱起	学校図書館司書	水上 和子	給食配膳員	元田 由佳
講師	市川 典樹 (社会)、柴田 雄一 (理科)、峰尾 弘子 (家庭科)				

※上記教職員以外にも、学習サポーターの皆様等、様々な方に学校運営に参加していただきます。

4月13日(月)「私って何色？自分を知る虹色ワークショップ」 ～ぜひお越しください～

鑓水中学校・初の取組「自己理解と自己紹介」を兼ねたすてきな授業のお知らせです。

4月13日(月) 2・3校時(9:45～11:35)、ファシリテーターに三浦 佐知子先生を迎えて「私って何色？自分を知る虹色ワークショップ」を開催します。

この授業では、「どういう個性があるのか？」を考え、自分を「色」で表現します。そしてそれぞれの「色」を紹介しあうことを通して、お互いに理解し、尊重し合う関係をつくることを目指します。

会場は鑓水中学校体育館です。対象は鑓水中学校の全校生徒と教職員ですが、希望される保護者・地域の方も御参加していただけます。ぜひお越しください。

【問い合わせ先】八王子市立鑓水中学校 副校長 末次哲待
電話：042-675-7331



昨年度、実施した鑓水中学校地域協働本部主催「キャリア育成プログラム『私って何色？』」のようす

鑓水中学校は「想像力」と「思いやり」